

### ドラフト会議 ソフトバンク

# 高橋礼 2位指名

## 夢は日本代表のマウンド

10月26日に行われたプロ野球ドラフト会議で野球部の高橋礼投手(商4・専大松戸高)が福岡ソフトバンクホークスから2位指名を受けた。在学生のドラフト指名は、昨年の森山恵佑さん(平29商)北海道日本ハムファイターズ)に続き2年連続。

高橋の特徴は、188センチの長身からサブマリンの投げと呼ばれる下手投げの投球フォーム。長い腕を引っばい使って放たれるストレートは最速141キロを記録する。1年次の秋季リーグ戦から登板の機会を得て経験を積むと、2年次の春にはリ

ード日本代表にも選出され、金メダルを獲得。今春は不調に陥るもフォーム修正が功を奏し、秋季は緩急自在のピッチングで2部リーグ最多の5勝を挙げた。

ドラフト当日は生田キヤンパス9号館のアトリウム内特設会場で指名を待った高橋。中継で自分の名前が呼ばれると会場に駆けつけた野球部員や関係者、ギャラリイから歓声がわいた。会場が拍手に包まれると高橋も笑顔を見せ、齋藤正直監督や佐々木重人学長(野球部長)と握手を交わした。

指名後の記者会見では「指名されてホッとしているし、とてもうれしい。プロでは浮き上がる高めのボールで空振りを取りたい。いつかは日本代表で抑えを任せられるような大事な場面で投げられるピッチャーになりたい」と夢を語った。

4年間で多くの経験を積んだ高橋。プロの世界ではさらに厳しい戦いが続くが、専大で鍛錬を重ねた彼なら必ず乗り越えてくれることだろう。

(飛田翼・文3)



記者会見で握手を交わす高橋(中央)。左は佐々木学長、右は齋藤監督。撮影・富樫幸恵(文3)

# 専大スポーツ

大会結果 予定は体育会ホームページ(専大ホームページ)からアクセスしてご確認ください。  
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com) 大会結果を配信しています。

No. 379



息の合ったプレーを見せた安藤(右)、枝松ペア=決勝戦

## 安藤・枝松ペア初優勝

### 安藤はシングルスもV

全日本大学総合卓球選手権・個人の部  
10月26〜29日、埼玉

一県・所沢市民体育館  
28日に行われた女子ダブルス決勝。安藤みなみ(商3・慶誠高)、枝松亜実(人間科学1・山陽女子高)ペアが初優勝。安藤は最終日に行われた

女子シングルスでも初めて頂点に立ち、2冠を達成した。

ダブルス決勝の対戦相手は中央大の伊藤選手・瀬山選手ペア。6月の関東学生選手権では決勝で敗れた相手。2セットを取られ、マッチポイントまで追い込まれたが粘りを見せて、見事逆転勝利をつかんだ。枝松は「全

実践できた。優勝できたことは自分にとって大きな経験になった」と手応えを語った。

(八代哲・経済1)

国の舞台で初めての優勝ができた」と喜んだ。

安藤は女子シングルスでも順調に勝ち上がり、昨年度は届かなかった決勝に進出。日大の奥下選手を相手に第1セットを11-1で先取し試合の主導権を握ると、その後も力強いショットで相手を圧倒し、4-1で快勝。最後のポイントを奪った瞬間、安藤は喜びを爆発させた。

専大では鈴木李茹さん(平29商)も2015年にシングルス、安藤とのダブルスで2冠を達成。安藤は「鈴木さんと同じ3年次に2冠を達成できるとは思わなかった」と驚いた様子で話すも「昨年よりいい結果を出して活躍し、チームを全日本大学選手権初優勝や関東大学リーグ戦3連覇に導いた。卒業後はドイツ・ブンデスリーガのFCケルンに入団。リーグ後半はレギュラーの座をつかみ、チームの1部昇格に貢献するなど、海外でも結果を残した。

2016年から浦和レッズに移籍。今シーズンは第31節(10月29日、広島戦)でリーグ初ゴールを挙げると、攻守に躍動し、頭角を現している。

## U21男子単 及川が優勝

ITTFチャレンジ  
ポロランドオープン  
10月4〜8日、  
ポロランド・チェン  
ストホバ

及川瑞基(商2・青森山田高)がU21男子シングルスで優勝した。8月のブルガリアオープンに続き、同種目で2勝目。及川は「ヨーロッパの選手はカットなどで強い

回転をかけてくるので対応が難しかったが、台の近くに寄って速い卓球を

トロフィーを手に表彰台に立つ及川

## 8年ぶり制覇

### 全チームから勝ち点

東都大学準硬式野球  
秋季リーグ戦9月  
4日〜11月2日、東  
京都・上柚木公園野  
球場

10月28日の東洋大2回



戦に4-2で勝利し、専大が8年ぶり21回目の優勝に輝いた。最終成績は10勝1敗2分け。全チームから勝ち点を獲得する完全優勝だった。

優勝の瞬間、マウンド上で喜びを爆発させる部員たち

昨秋は最下位に沈み、再起をかけた2017年。関東選手権で準優勝、春季リーグ戦3位、清瀬杯(全日本大学選抜大会)でベスト4と、少しずつ実力をつけていった。秋季は山口寛太(法2・金沢市立工高)と塚越海斗(文1・高崎商科大附高)が先発し、リリーフの阿部拓磨(経営3・専大松戸高)が締めるという盤石の方程式を確立した。

大学最後のシーズンで有終の美を飾った神山琢郎主将(経営4・県立岐阜商高)は「優勝できると思っていなかったのだけれしい。リーグ戦を通して、チームが成長していくのを感じた」と喜びを表した。

(飛田翼写真)

都合により写真を掲載できません。紙面をご覧ください。



## 長澤さん代表入り

### サッカー 専大出身者で初

写真提供:浦和レッズ

サッカー部OBでJリーグの浦和レッドダイヤモンズに所属する長澤和輝さん(平26経営)写真が、11月に行われたブラジル、ベルギーとの国際親善試合で日本代表

メンバーに初招集された。専大出身者のサッカー日本代表入りは初めて。

長澤さんは1対1の競り合いに強く、ボールキープ力にもたけたミッドフィールダー。在学中は1年次からレギュラーとして活躍し、チームを全日本大学選手権初優勝や関東大学リーグ戦3連覇に導いた。卒業後はドイツ・ブンデスリーガのFCケルンに入団。リーグ後半はレギュラーの座をつかみ、チームの1部昇格に貢献するなど、海外でも結果を残した。

2016年から浦和レッズに移籍。今シーズンは第31節(10月29日、広島戦)でリーグ初ゴールを挙げると、攻守に躍動し、頭角を現している。